

第43回中国地区公立学校教頭会研究大会(島根大会)

第5分科会 教職員の専門性に関する課題

未来をたくましく生き抜く子どもを育む
魅力ある学校づくり

～自立した学習者の育成と教頭の関わり～

提言者 山口県美祢市立厚保小学校 吉谷 亮



はじめに

教職員の専門性≠教頭の専門性

主題設定の理由

令和3年1月26日中央教育審議会答申

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

主題設定の理由

①個別最適な学び

②協働的な学び

それぞれの学びを一体的に充実し
「主体的・対話的で深い学び」の
実現に向けた授業改善につなげる

主題設定の理由

- 「個別最適な学び」「協働的な学び」をどう進めればいいですか？
- 主体的に学びを進められる子どもを育てたいです。



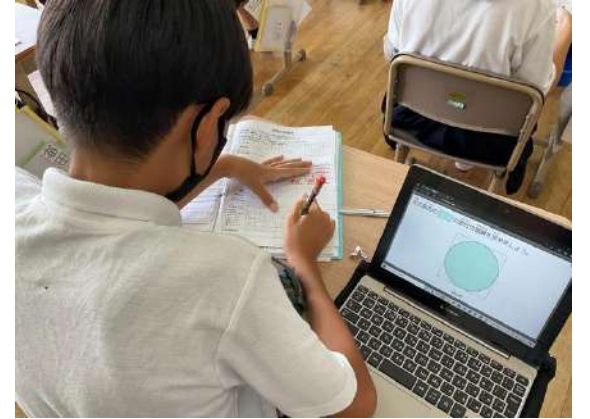
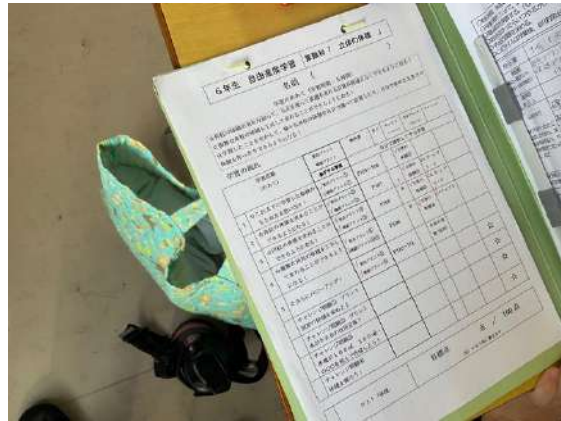
「個別最適な学び」と「協働的な学びの在り方への理解」を深めることが重要



地域・支部の実態

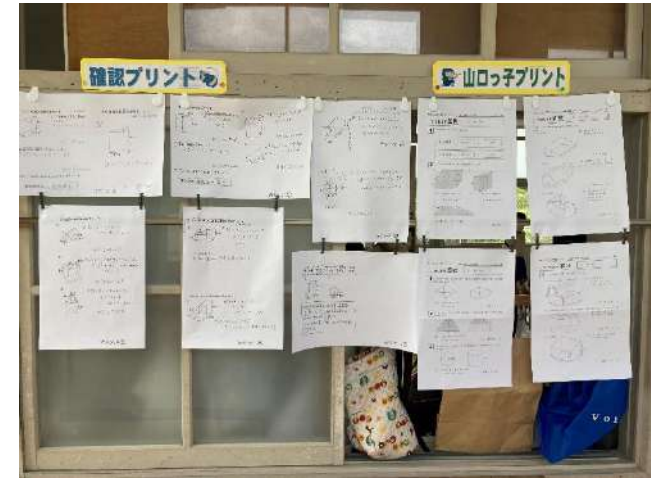
自由進度学習…子どもが自ら立てた学習計画に基づいて自分のペースで学ぶ学習

複数校で試行的に実践(1年次)



【自由進度学習】美祢市における実践

多様な学び（教科書、ICT、プリント、ドリルなど）



【自由進度学習】美祢市における実践

自由な学びの空間



【自由進度学習】美祢市における実践

一人学びに集中



【自由進度学習】美祢市における実践

友達との学び合い



自由進度学習について

パターン① **1時間ごとに自由進度**にする。

【例】一斉（10分）⇒自由進度（30分）⇒振り返り（5分）

パターン② 単元内をいくつかのまとまりに分け、**まとまりごと**
に自由進度にする。

【例】導入（一斉）⇒3時間⇒2時間⇒3時間⇒まとめ

パターン③ **単元内を自由進度**にする。

【例】導入（一斉）⇒自由進度⇒まとめ

自由進度学習について

自由進度学習とは？

⇒自分で学習の進度や学習の方法を選択する学習
【自己決定・自己選択学習】

自由進度学習のメリット

- ☆ **個に合ったペース・スタイル**で進められる。ゆっくり理解する子はゆっくりと、早く進められる子はどんどん進められる。
- ☆ 学習内容が**わからないまま一律に進められることがない**。わからない時にはすぐに先生や友達に質問できる。
- ☆ 支援が必要な子どもに教員が対応できる。教師が授業を進めないのも、**個に対応できる**。
- ☆ 自分で選択・決定することで**主体的な学習**ができる。

特別支援教育の視点からも有効な手立て

研究のねらい

児童生徒を「自立した学習者」として育成するため、教職員の授業力や資質向上に向けた校内研修の活性化に取り組む。

研究について

(1) 授業改善に向けた実態把握および本市の課題について

(2) 授業実践および「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実に向けた研修の在り方について

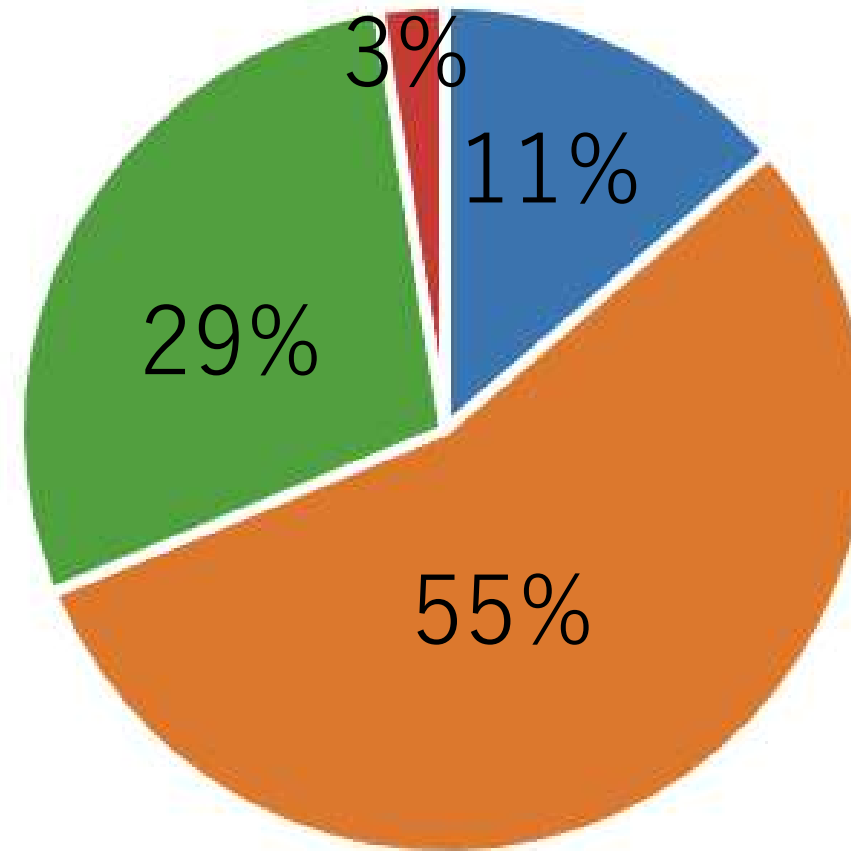
研究について

(1) 授業改善に向けた実態把握および本市の課題
について

アンケートから 1年次 令和4年10月

日々の授業づくりで困っていることはありますか。

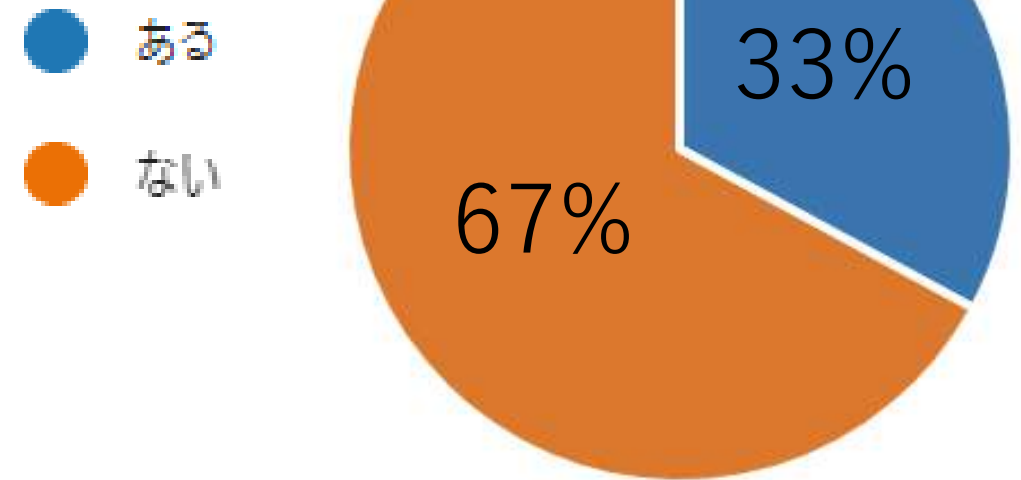
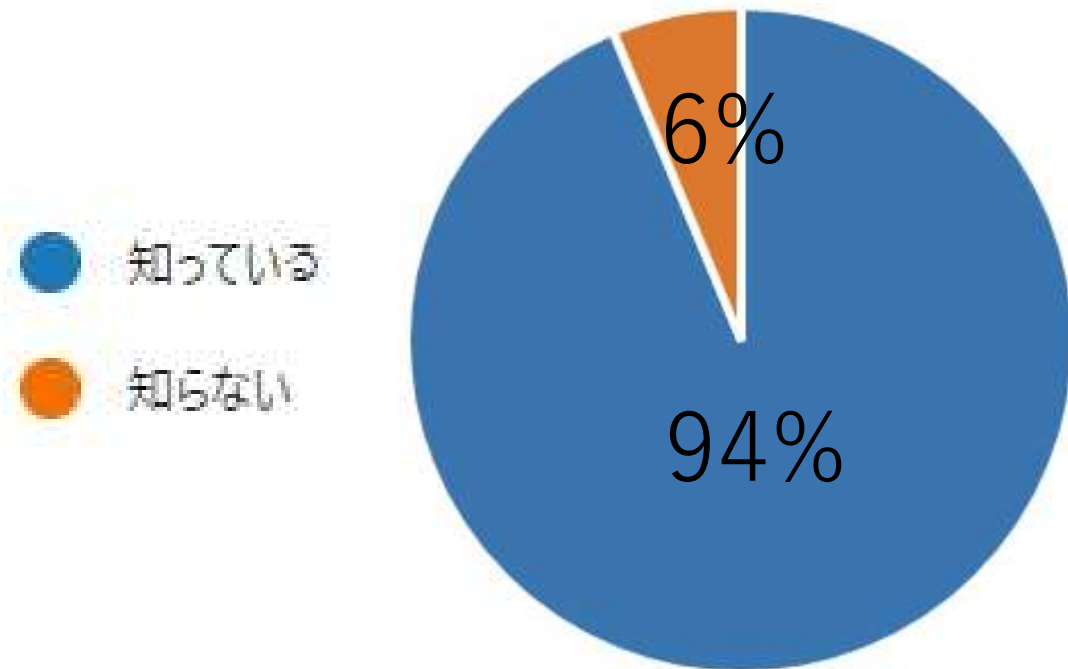
-  いつも困っている
-  ときどき困っている
-  あまり困っていない
-  まったく困っていない



アンケートから 1年次 令和4年10月

美祢市では、「自由進度学習」を進めていますが、このことを知っていますか。

「知っている」と答えた方は、「自由進度学習」を実践したことがありますか。

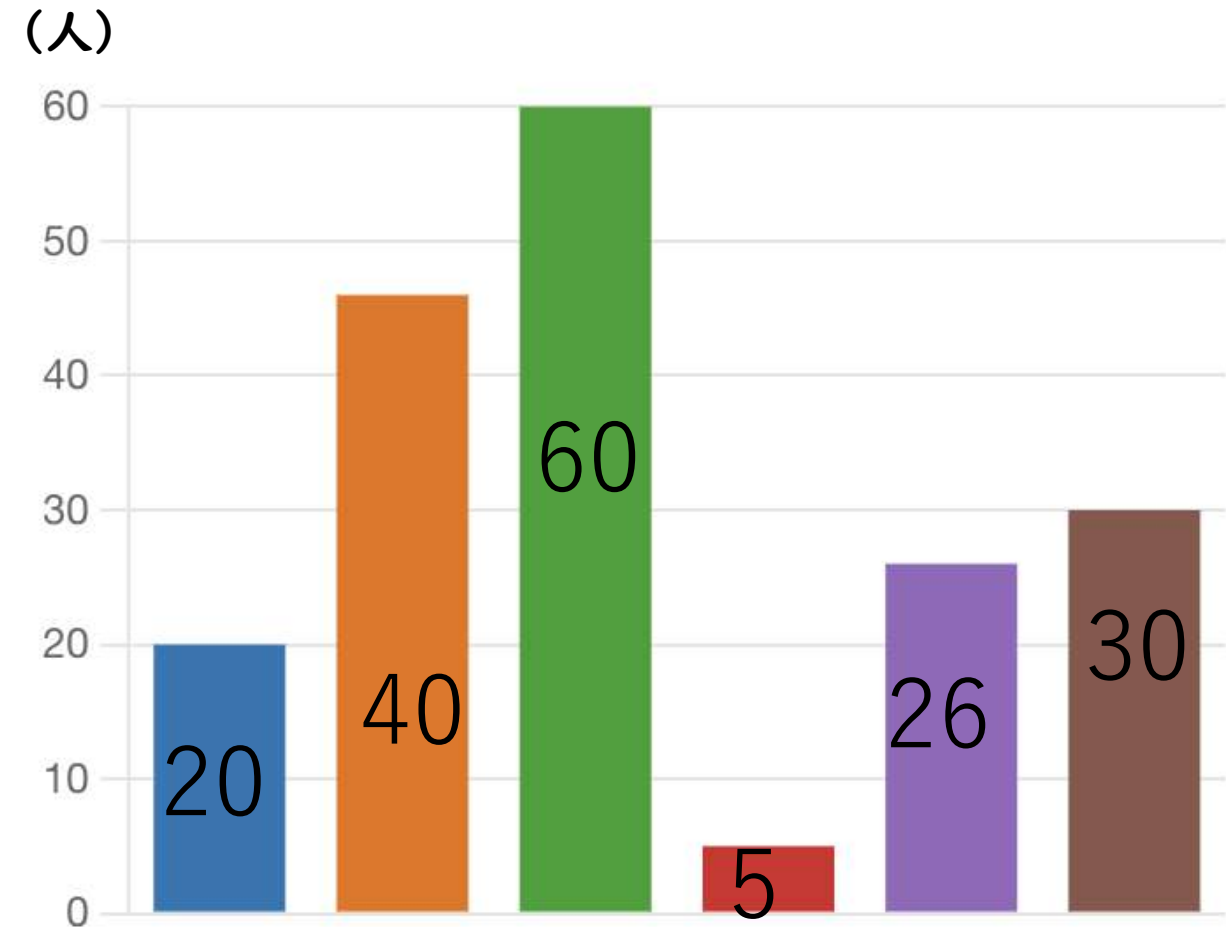


アンケートから 1年次 令和4年10月

自由進度学習について

複数選択可

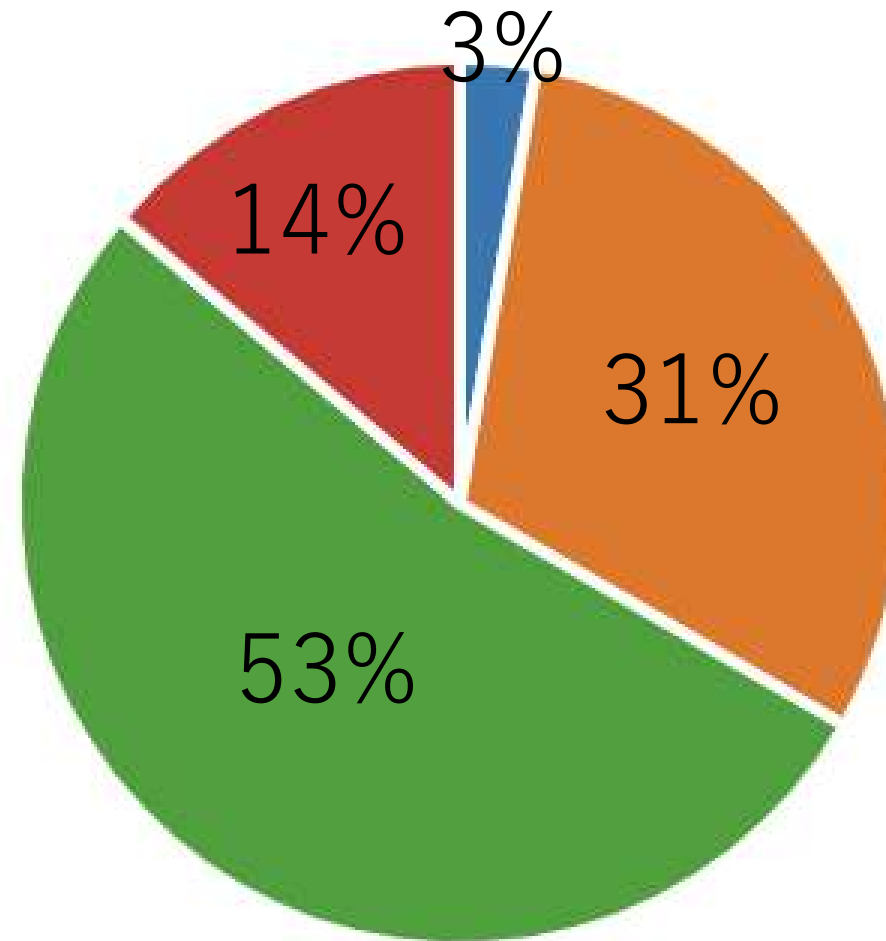
- 子どもの学力を高める有効な手立てだと思う。
- 子どもの主体性を高めると思う。
- 個に応じた学習課題や学習方法を選択できると思う。
- これまでの集団での指導の方がよいと思う。
- できる子どもとできない子どもの学力差が広がりそうだと思う。
- 授業準備が大変だと思う。



アンケートから 1年次 令和4年10月

自由進度学習について教員から指導助言を求められたとき、どの程度できますか。

- ほほできる
- だいたいできる
- あまりできない
- まったくできない



考察(1年次)

- 多くの教員が授業作りや教材研究で困り感をもっている。
- 多くの教員が自由進度学習の意義は理解しているが、実践までは至っていない。
- 管理職の多くが自由進度学習の指導について自信をもっていない。

(1年次後半～2年次)

(2) 授業実践および「個別最適な学び」
「協働的な学び」の一体的な充実に
向けた研修の在り方について

- ① 教頭自身が学ぶ
- ② 教頭自身が実践する
- ③ 教材作りや実践を共同で行う
- ④ 市や小中で連携した研修活動
- ⑤ 実践や情報の共有

① 教頭自身が学ぶ 教頭研修会において

令和5年1月17日 第7回美祢市公立学校教頭会研修会

- ・ 「自由進度学習の考え方や実践について
～天童市立天童中部小学校の取組を例に～」
山陽小野田市教育委員会学校教育課 関本 努 様

- ・ 「美祢市内の実践報告および指導助言
実践校：大田小・麦川小・伊佐小
指導助言 美祢市教育委員会学校教育課 大坪 伸彰 様

① 教頭自身が学ぶ 教頭研修会において

令和5年5月23日 第2回美祢市公立学校教頭会研修会
・「自由進度学習について」

講師 美祢市教育委員会学校教育課 指導主事
中村 哲哉 様

①

教頭自身が学ぶ

参観授業の分析・記録レポート

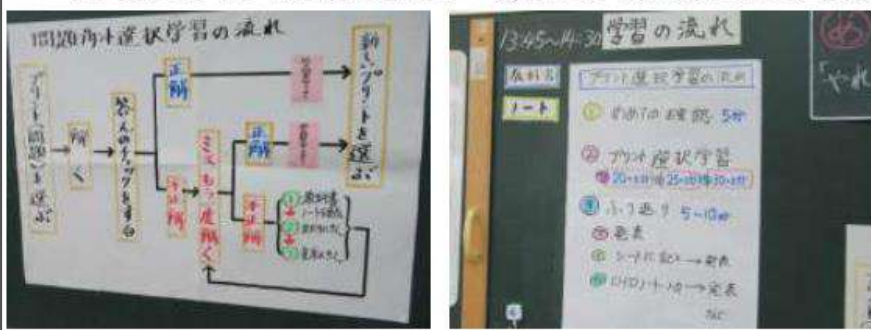
校内研修 授業分析資料

実施日 令和5年6月21日(水) 美祢市立於福小学校 分析者(齊藤正浩)

5校時	学年・組	教科等	授業担当者
授業分析の観点	5. 6年	算数	岩本先生

○ねらいの達成
 ①令和の日本型教育と自由進度学習の意義と留意点を踏まえ、教育方法学の成果を活用した素晴らしい実践である。
 ・「個が孤立しない自由進度学習」「対話による認識が深化する場面」

A 考えたくなるような課題・発問



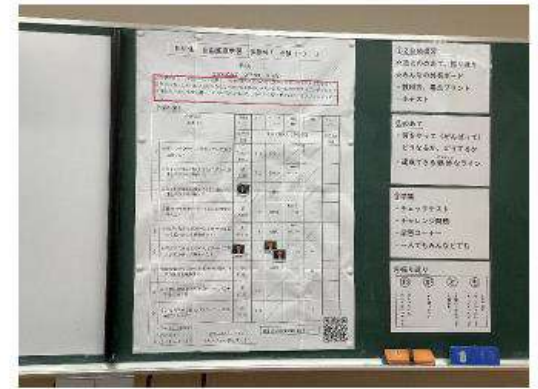
B 解決方法の育成(自己選択)による主体的取組

①学習の環境設定が素晴らしい。(もの、ひと、こと)



C 対話による認識の深化の実現

D 振り返り



【学習計画表:児童がどの段階の学習をしているかを明確に】



【ひとりで集中して学習に取り組む児童】



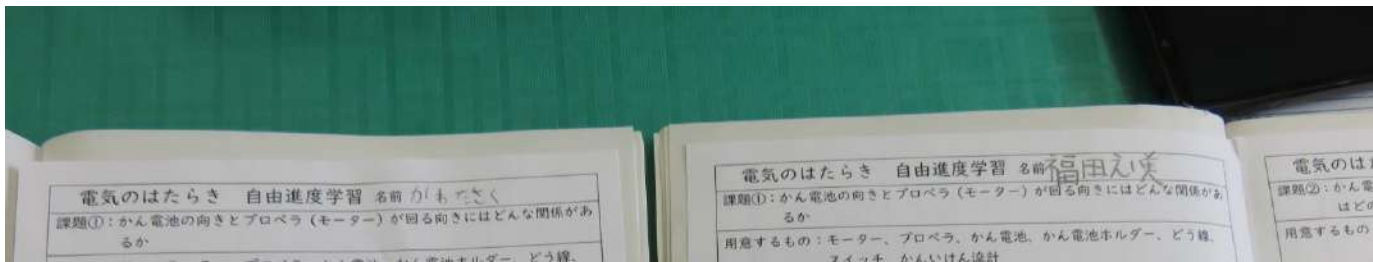
【キュピナで学習】



【学習コーナー】



② 教頭自身が実践する



電気のはたらき 自由進度学習 名前
課題①：かん電池の向きとプロペラ（モーター）が回る向きにはどんな関係があるか
用意するもの：モーター、プロペラ、かん電池、かん電池ホルダー、どう線、スイッチ、かんいけん流計
実験 ★図（回路図）や記号、数字、ことばで表そう

自分が作った回路と見比べながら「電池がここで、こうつなげたから…」と考えながら描く姿が見られました。
昨年に比べて「直列」「並列」などの知識の定着率もとても高くなっていました。



第4学年 理科「電気のはたらき」

ふり返り（自分の実験のよさや、もう少しくふうするとよかったところなど）

② 教頭自身が実践する

社会科 6年 天下統一を進めた二人の武将（自由進度学習）

1. 2つの俳句から、二人の武将の性格や考え方について意見を言い合う。

鳴かぬなら 殺してしまえホトトギス 織田信長

鳴かぬなら 鳴かせてみせようホトトギス 豊臣秀吉

2. 単元を通しての学習のめあてを確認し、学習を進める。

二人の武将について詳しく調べ、ノートにまとめよう。

織田信長が天下統一のためにしたことをまとめよう。

豊臣秀吉が天下統一のためにしたことをまとめよう。

- ・教科書や新聞で調べる
- ・資料集で調べる
- ・図書室の本で調べる
- ・タブレットで調べる
- ・NHK FORスクールを視聴する など

主体的な学びになるために、普段の生活とつなげることや自己選択の大切さを意識する必要がある。

第6学年 社会科

「天下統一を進めた二人の武将」

② 教頭自身が実践する

教頭自ら、自由進度学習に取り組むということは、他職員への意識づけとしては効果があった。

校内研修会で実践発表をした。これまで、算数を試みたものはあったが、理科の取組は今後の広がりを考える上でも有効であった。

自由進度学習実践報告 秋吉小学校 教頭 藤村 薫

第4学年 理科「流れる水のゆくえ」 児童11名

授業の流れ

1 課題把握 雨の日、校庭を見て、考える。「校庭に降った雨はどうなるのか」

- ①晴れたら、蒸発して乾く。雲になる。
- ②水たまりになる。しみこんでいく。
- ③流れていく。

2 実験その1 自分で方法を考えて実験しよう。(①は行わないこととした)

自分のめあてを決めて取り組む。

めあて 水はどのようにしみ込んでいくのだろう。(5人)

実験方法:ex「山を作って流そう。」「模型を作ろう。」

めあて 水はどのように流れていくのだろう。(6人)

実験方法:ex「容器に入れてしみ込む様子をみよう。」

3 実験その2 実験その1をもとに深めよう。

実験その1を終えて

「斜めにしないと流れない」

「土の種類でしみ込む速さが違った」

この振り返りをもとに、実験その2へ

*使用したプリント

4年理科「地面を流れる水のゆくえ」 名前【 】

第1回目の実験で分かったこと

第2回目にしたこと + そのための準備(用意)

第4学年 理科「流れる水のゆくえ」

② 教頭自身が実践する

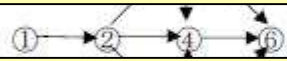
実践報告

豊田前小学校 木下 実

○第6学年 理科「発電と電気の利用」

本単元は、電気を「つくる」「ためる」「つかう」の学習をした後、電気を無駄な

単元のめあてに向けて、自分なりの方法で調べたり
試行錯誤したりすることができ、取り組む際の集中
力が高まっていた。



Studuino (株式会社ノーブック) を使用

② 基本的操作の習得

従来の学習スタイルとは異なるため学習内容の定着
に不安があったが、テスト等の結果は良く、理解で
きていた。

第6学年 社会科
「江戸時代と政治の安定」

お互いの表したものを見合い、自分が調べていないものは説明してもらう。

⑥ 小単元のまとめ・ふり回り

3 成身
○ 成
る
第6学年 理科
「発電と電気の利用」

の結果は良く、理解できている。

「誤したりす
最適な学び」
、テスト等

【主体的な学び】

③ 教材作りや実践を共同で行う

Y教頭

5年生円と正多角形の要点プリント等を作成してみました。

1/9 13:25

大坪主事、工藤先生

学力向上推進リーダーの吉谷です。

新学期開始前で申し訳ないのですが、5年生円と正多角形の要点プリント等を作成してみました。

大嶺小では、16日(月)から授業を行う予定です。

もしもお時間ありましたら、ご覧になってご意見いただけたらと思います。

新学期開始前で申し訳ないのですが、5年生円と正多角形の要点プリント等を作成してみました。

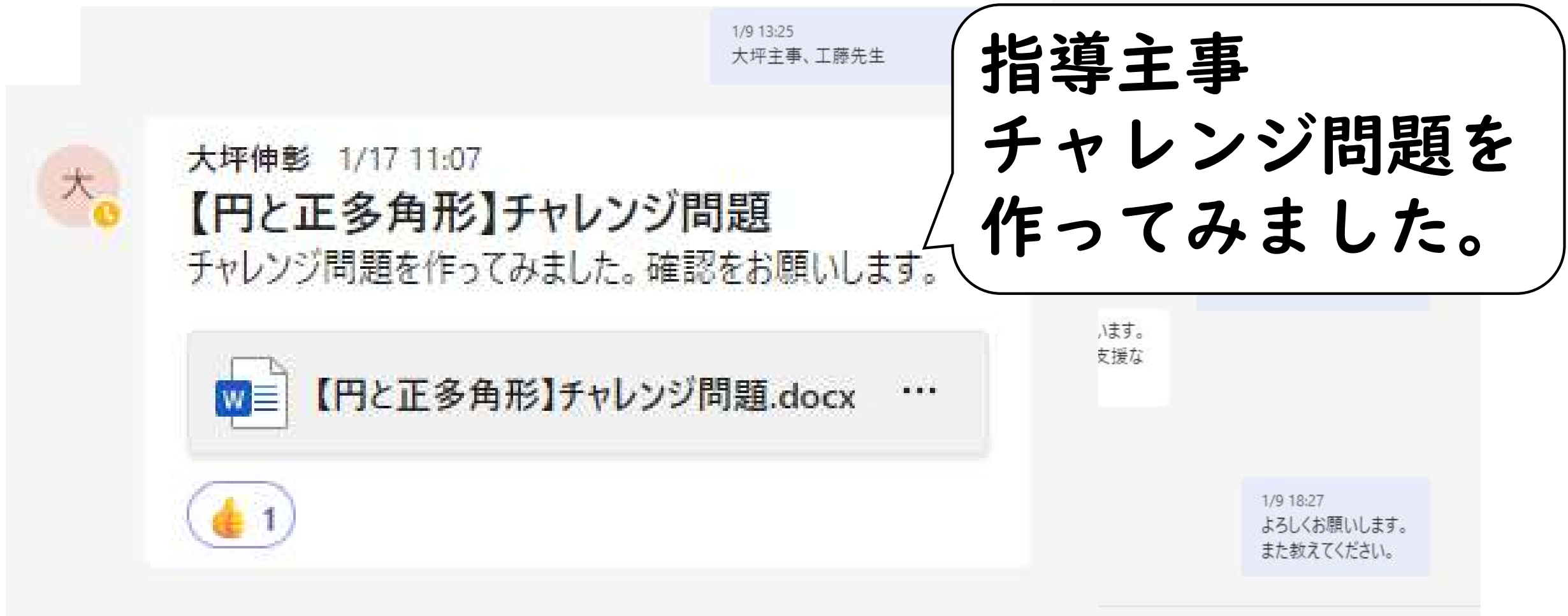
大嶺小では、16日(月)から授業を行う予定です。

もしもお時間ありましたら、ご覧になってご意見いただけたらと思います。

お忙しいと思いますので、くれぐれも無理はされませんようお願いいたします。

チャットを用いて美祢市教委・他校の教諭・教頭での教材研究

③ 教材作りや実践を共同で行う



チャットを用いて美祢市教委・他校の教諭・教頭での教材研究

③ 教材作りや実践を共同で行う

1/9 13:25

K教諭

授業準備の負担が大幅削減です！教師にとっても自由進度学習はとても有益なものだと思います。

ます！授業準備の負担が大幅削減です。教師にとっても自由進度学習はとてもとても有益なものだといつも思います。うと発見する事が多いと思います。教頭先生が伊佐小にいらっしゃった時には改良点や付け加える事、子供への支援なます。可能であれば大嶺小学校の授業様子も参観させていただきたいです。

【5年円と面積】チャレンジ問.



チャットを用いて美祢市教委・他校の教諭・教頭での教材研究

③ 教材作りや実践を共同で行う

スキルアップタイム (中学3年生 英語科) 習熟度別の 「学び直しの時間」

英語科の教員と応援教員 で進める

3年生英語科「スキルアップタイム」が始まります

1. 目的

①計画:目標を立て、その目標を達成するための計画を立てる

- ・自分の意志で目標を立て、いつまでに何をどのようにするのかという手段や方法を明確にすることができる。

②実行:立てた目標に基づき計画を実行する

- ・友だちとも関わりながら意欲的に授業に参加しようとする。
- ・自分に合った方法で粘り強く学習に取り組もうとする。

③評価:自分の学習を評価する

- ・目標達成に向けて現時点での自分の学習を振り返ろうとする。
- ・「できるようになったこと」、「まだできていないこと」が自分で言える。

④改善:学習の振り返りから次回の学習を改善する

- ・自分の学習の振り返りを次の学習に生かそうとする。
- ・振り返りを生かして、次の計画を具体的に立てることができる。

2. 実施日

○毎週金曜日5時間目+ユメミルタイム30分

3. 実施方法

○4つのコースの中から自分に必要なコースを選んで学習する。

- ①「発展コース」英語をどんどん学習したい人向け
- ②「基本コース」1・2年生の学習から学び直したい人向け(ぐんぐん)
- ③「補充コース」1・2年生の学習から学び直したい人向け(ゆっくり)
- ④「個別コース」自分の分からないところまで戻って学習したい人向け



—全員の先生方がみなさんを応援してくれます。
目標をもって粘り強く取り組みましょう—

③ 教材作りや実践を共同で行う スキルアップタイム(中学校)

○4つのコースの中から自分に必要なコースを選んで学習する。

- ① 「発展コース」 英語をどんどん学習したい人向け
- ② 「基本コース」 1・2年生の学習から学び直ししたい人向け(ぐんぐん)
- ③ 「補充コース」 1・2年生の学習から学び直ししたい人向け(ゆっくり)
- ④ 「個別コース」 自分の分からないところまで戻って学習したい人向け

③ 教材作りや実践を共同で行う スキルアップタイム(中学校)

New Horizon1		学習計画表(計2時間)			
学習活動	課題	学び方	課題	学び方	計画していない以上に行なう課題
	課題	学び方	課題	学び方	
	必ずやり終える学習		自分で決めてやる学習		
<input type="checkbox"/> リスニング 課題プリント ④⑤	<input type="checkbox"/> ALT との会話 やり取り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

1. 学習の目的をきちんと理解させる。

- ・学習方法の選択(個人・ペアなど)

- ・学び方の選択(プリント、キュビナ、新研究、YouTube など)

③ 教材作りや実践を共同で行う スキルアップタイム(中学校)



加配教員を含めた多くの教員が自由進度学習に触れるきっかけとなった

④ 市や小中で連携した研修活動

学校A
教諭



「教頭先生、自由進度学習の授業を見てみたいです。」

「今、自由進度学習を実践している先生が本校にいないなあ…」



学校A
教頭

事例Ⅰ 教頭A・市教委・教頭Bで研修をコーディネート

④ 市や小中で連携した研修活動

学校A
教頭



「自由進度学習を実践している学校はありますか？」

「ちょうど学校BでC先生が実践していますよ」



市教育委員会

事例Ⅰ 教頭A・市教委・教頭Bで研修をコーディネート

④ 市や小中で連携した研修活動

学校A
教頭

「本校教諭が自由進度学習を参観させてもらえますか？」

「〇月〇日の〇校時に〇〇先生が授業しますから、参観できますよ。」

「指導主事も一緒に参観協議に参加させてください。」

市教育委員会

学校B
教頭

事例Ⅰ 教頭A・市教委・Bで研修をコーディネート

④ 市や小中で連携した研修活動



授業参観後に授業者・
参観者・市教委指導主
事を交えた協議

事例Ⅰ 教頭A・市教委・教頭Bで研修をコーディネート

④ 市や小中で連携した研修活動



中学校社会科の教員
が小学校社会科の授
業を参観

事例2 小中の教頭で研修をコーディネート

④ 市や小中で連携した研修活動

小学校
教頭



「算数の自由進度学習について教材研究をしたいのですが…」

中学校
教頭



「本校の数学科の教員に相談してみますね。」

事例3 中学校で扱う内容や発展的な問題について
小学校の教材を小中で共同研究

④ 市や小中で連携した研修活動 中学校の数学科教諭と6年生算数科「資料の調べ方」の教材研究を行う



どう判断すればいいかな

ある水泳チームでは、大会の100m自由形に出場する選手を1人決めることになりました。右の表1は、候補の2人の選手が、100mを20回ずつ泳いだ記録を並べたものです。
あなたは、どちらの選手が出場するのにふさわしいと思いますか。

表2 自由形の記録

階級(秒)	A選手	B選手
	度数(回)	度数(回)
53.00以上～53.50未満	0	1
53.50～54.00	0	0
54.00～54.50	1	1
54.50～55.00	2	2
55.00～55.50	3	2

表1 自由形の記録(秒)

A選手	B選手
55.72	56.73
56.28	56.22
55.72	56.36
55.99	56.41
56.95	54.98
56.45	55.35
55.23	56.93
55.93	56.67
55.61	56.22
55.93	55.71
54.48	54.74
55.47	54.47
54.91	56.73
57.26	56.47
54.67	55.84



事例3 中学校で扱う内容や発展的な問題について 小学校の教材を小中で共同研究

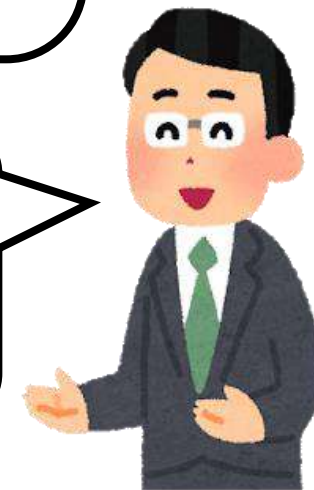
④ 市や小中で連携した研修活動

学校C
教頭



「自由進度学習の研修を行いたいのですが、講師に呼べそうな先生はいますか？」

「学校のD教頭先生はどうですか？」



市教育委員会

事例4 教頭C・市教委・教頭Dで研修をコーディネート

⑤ 実践や情報の共有

いたり、自由進度学習の情報をいただいたりしています。

Microsoft Teamsを活用

【自由進度学習】授業づくりの部屋

教材や授業記録などを共有

← 返信

2023年9月27日

高夫 佑樹 9/27 12:48

とても簡易的なものですが、日常使用を目指して、2年生の算数ではこのようなワークシートを使って自由進度学習に取り組んでいます。ここに明記はされていませんが、ワークブックを1時間毎に分けて作成しております。授業の基本的な流れとしては、キュビナワークブックで最低限の技能の習得→教科書の問題→教科書が終わった児童で拡大掲示した教科書を用いながら答え合わせ→計算スキル、やまぐちっこプリント等で反復練習、振り返り といった流れで取組み中です。

詳細表示

自由進度学習 かけ算 単元計画.xlsx ...

6

← 返信

相康 康弘 9/27 16:24 編集済み

【大嶺小】学校だより&学年だより
自由進度学習のことを保護者にも知ってもらうために、先日の研究授業をもとにした学校だよりを作成しました。また、1年生の実践は、学年だよりで紹介しています。参考まで・・・。

20230926_大嶺小だより7 (1年学年だより自由進度学...
msteams_bc4a80 >General ...

6

片山 和典 9/27 17:25 編集済み

【自由進度学習】授業づくりの部屋

⑤ 実践や情報の共有



「教頭先生が【自由進度学習の部屋】に投稿した教材をそのまま活用しました。子どもたちの反応も良く、自由進度学習のイメージもつかめました。」

教材を活用したT先生

⑤ 実践や情報の共有

教頭会

一般

小学校

渡誠

渡壁 誠 6/21 12:41 編集済み

自由進度学習（4年理科「電気のはたらき」）

自分が取り組んだ、4年理科「電気のはたらき」の実践を紹介します。

指導計画（全6時間）

①自由試行→課題設定

②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

詳細表示



電気のはたらき自由進度学習プリント(4-2).docx

msteams_766b4a >General



教頭自身の実践や授業記録を共有

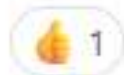
教頭会のチーム

新しい投稿

⑤ 実践や情報の共有



小野 6/19 18:24
吉谷教頭先生が自由進度学習の授業をされます。ぜひ見に行ってください。



小野 6/19 18:30
6/22 (木) 2校時 9:25~10:10
6/23 (金) 2校時 9:25~10:10
6/27 (火) 1校時 8:35~9:20
4年生社会科「ごみのしよりと利用」

返信

小中での授業
情報の交換・
共有

2023年7月6日



小野 7/6 7:52
吉谷教頭先生の自由進度学習の授業やっています。6年生と2年生の算数です。時間はお問い合わせください。



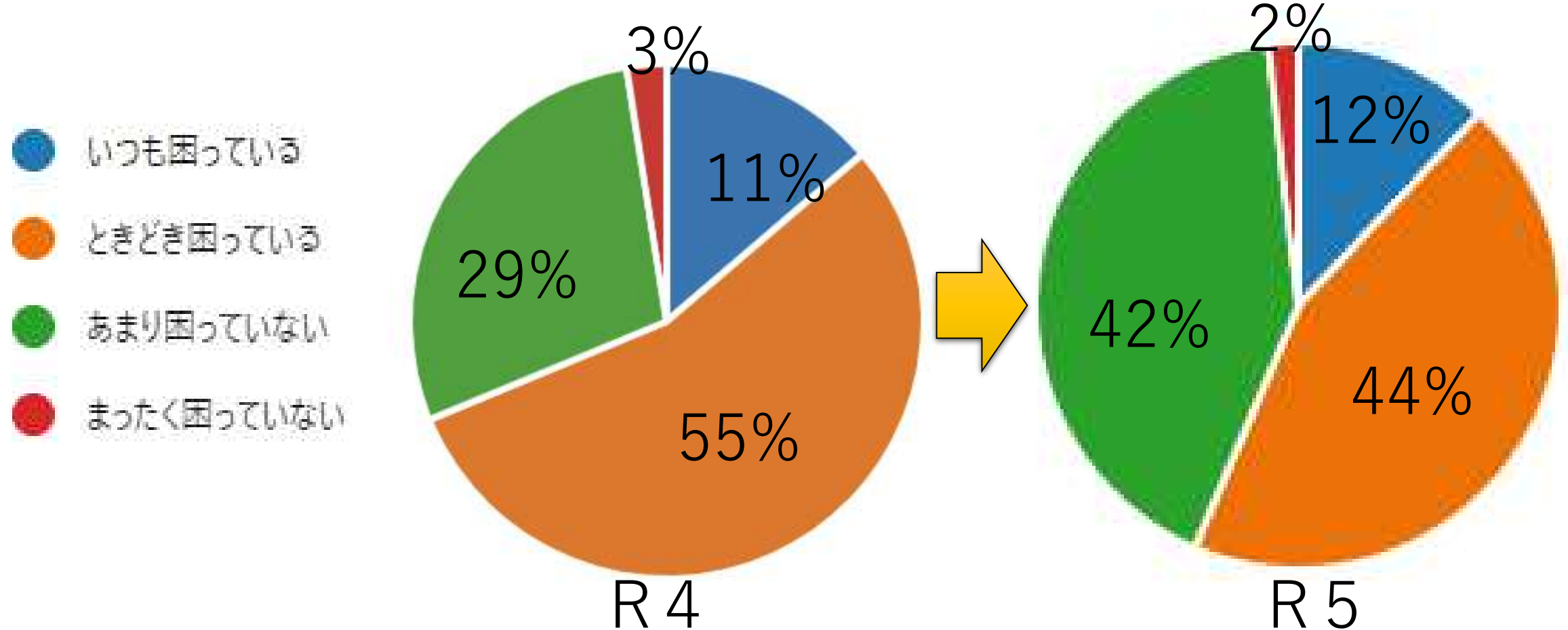
返信

中学校区(小中)のチーム

成果と今後の課題について

アンケートから

日々の授業づくりで困っていることはありますか。



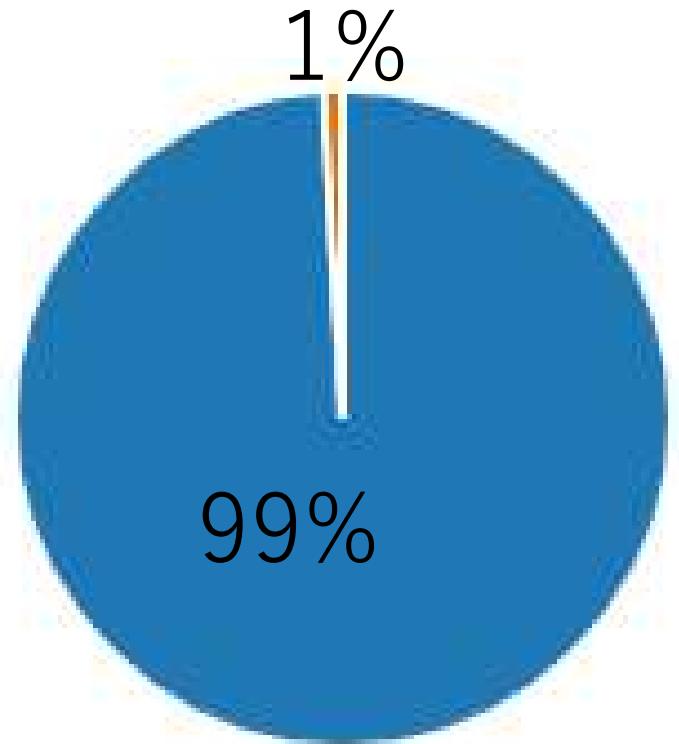
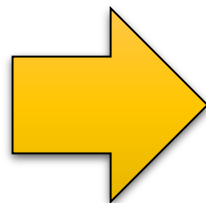
ときどき困っていると答えた割合が減少し、あまり困っていないと答えた割合が増加している。

アンケートから

美祢市では、「自由進度学習」を進めていますが、このことを知っていますか。



R 4

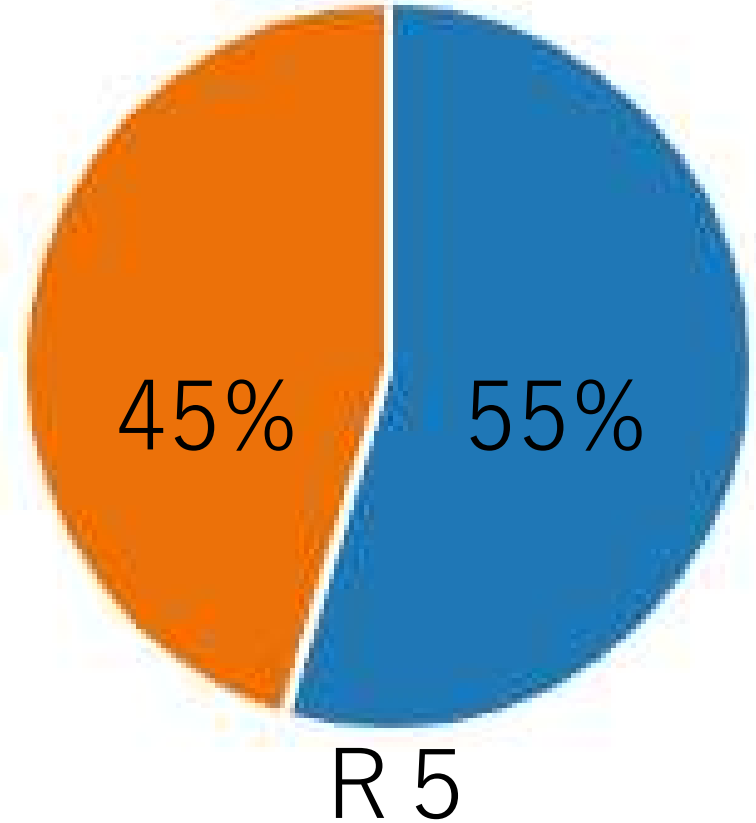
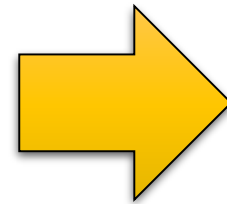
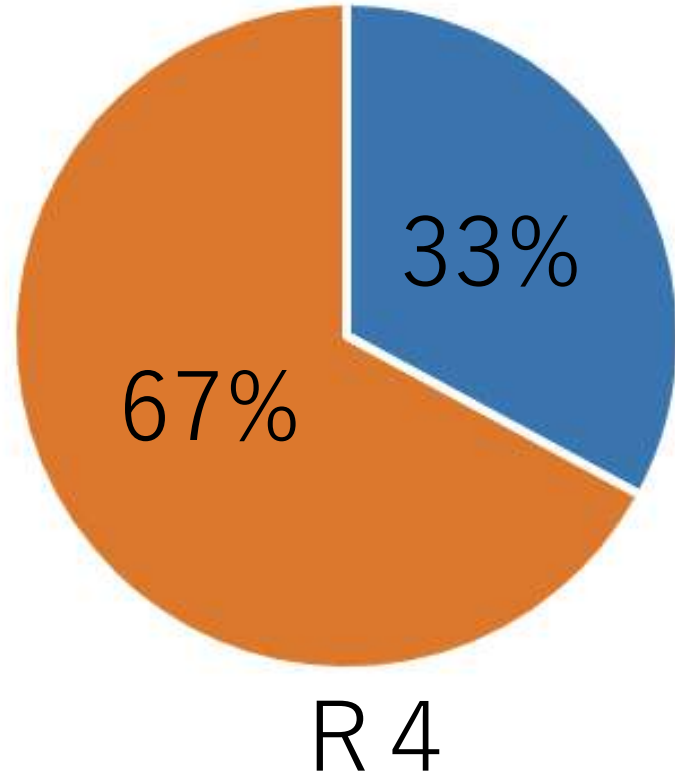


R 5

アンケートから

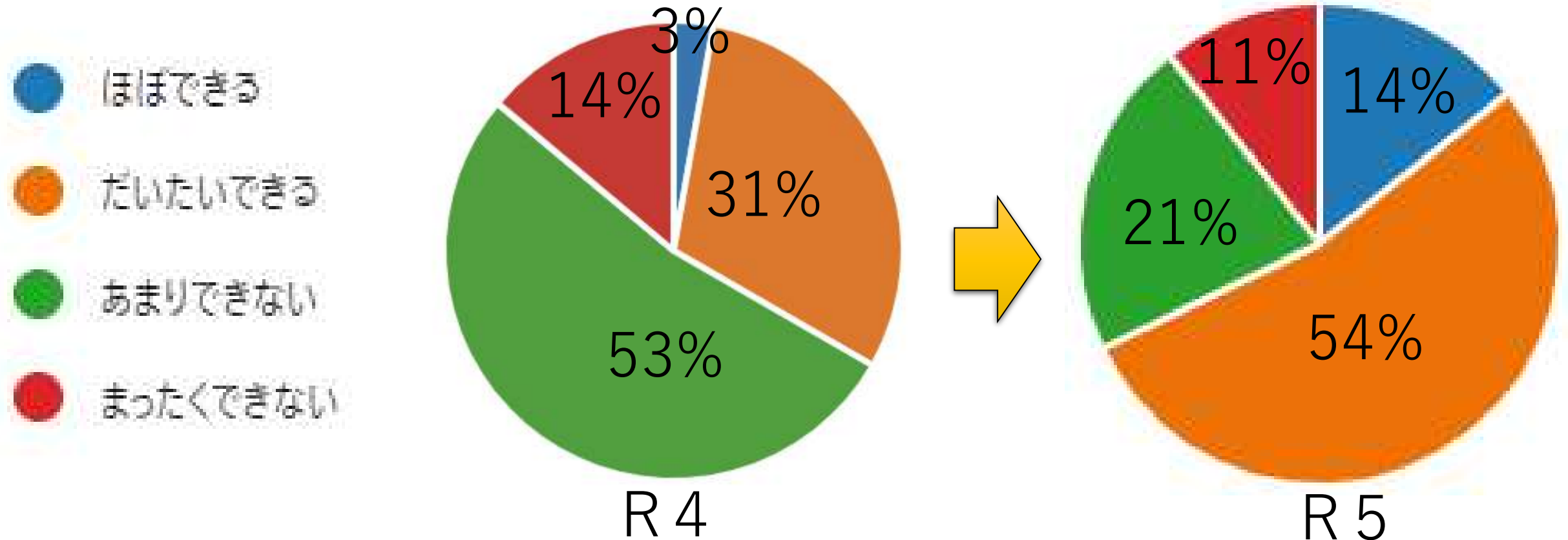
「知っている」と答えた方は、「自由進度学習」を実践したことがありますか。

- ある
- ない



アンケートから

自由進度学習について教員から指導助言を求められたとき、どの程度できますか。【管理職限定】



昨年度と逆の結果となり、7割近くの管理職が「ほぼできる」「だいたいできる」と答えている。

成果と今後の課題について

成果

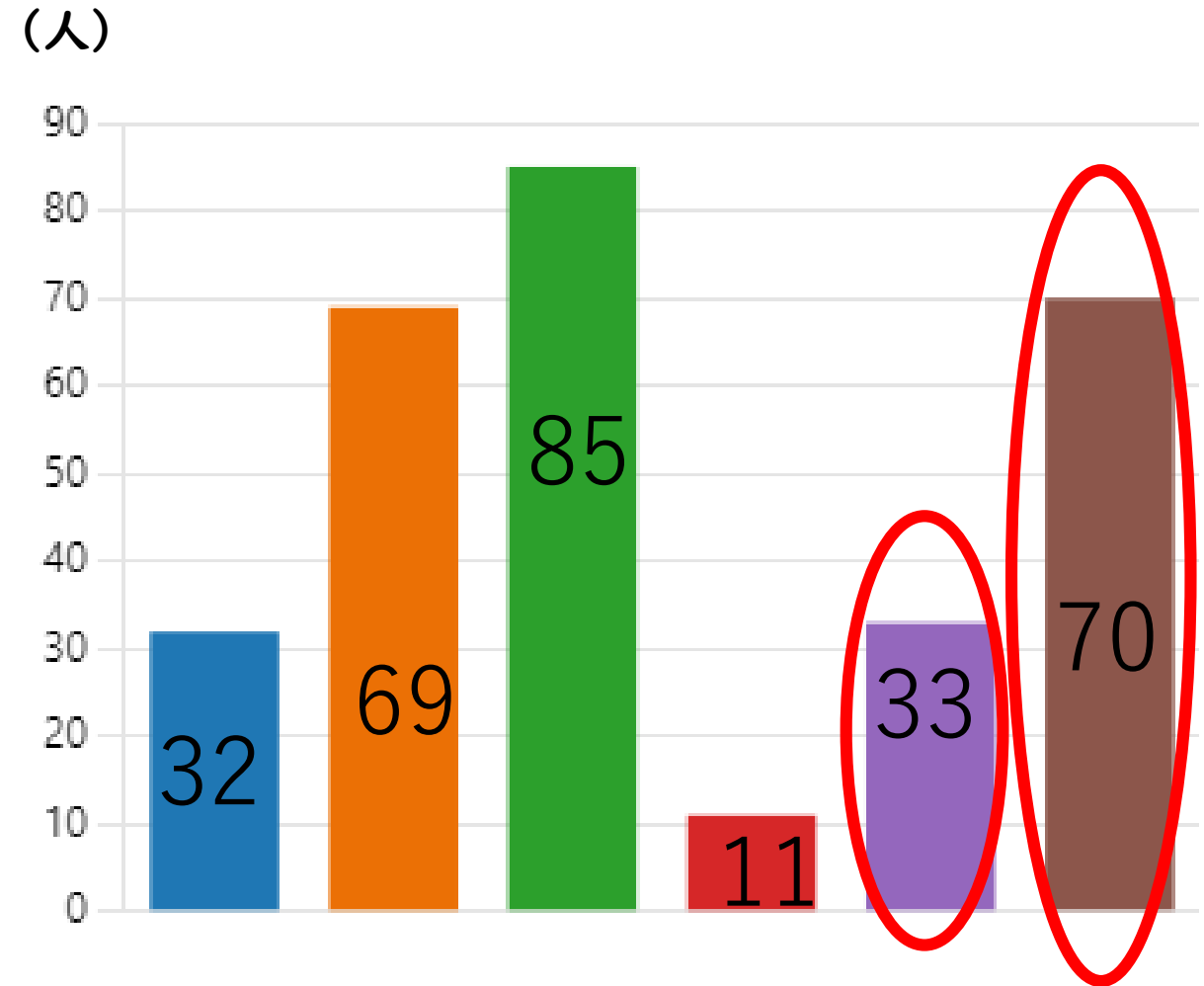
- ・ 教頭自身が、積極的に実践を行う姿を見せたことで具体的なアドバイスや関わりが可能になり、校内研修が活性化した。
- ・ 自由進度学習を自ら実践してみようとする教員が増え、相乗的に児童生徒の授業への主体性も高まっている。
- ・ 教頭が積極的にMicrosoft Teams等で情報発信したことで、自由進度学習に不安感をもっていた教員が減少し、実践する教員も増えた。
- ・ 美祢市教育委員会と連携することで市の方針に合わせて教職員の授業作りに寄与することができた。

アンケートから

自由進度学習について

複数選択可

- 子どもの学力を高める有効な手立てだと思う。
- 子どもの主体性を高めると思う。
- 個に応じた学習課題や学習方法を選択できると思う。
- これまでの集団での指導の方がよいと思う。
- できる子どもとできない子どもの学力差が広がりそうだと思う。
- 授業準備が大変だと思う。



成果と今後の課題について

課 題

- ・ 新規採用や初めて美祢市に勤務する教員の自由進度学習に対する理解への対応。
- ・ 教頭による実践の日常化。
- ・ 自立した学習者を育成するため、自由進度学習以外の学びのスタイルの可能性の模索。
- ・ 校内研修への教頭の適切な関わりの広がり。

教職員の専門性≠教頭の専門性

教頭自身が謙虚に学ぶ姿を目指して